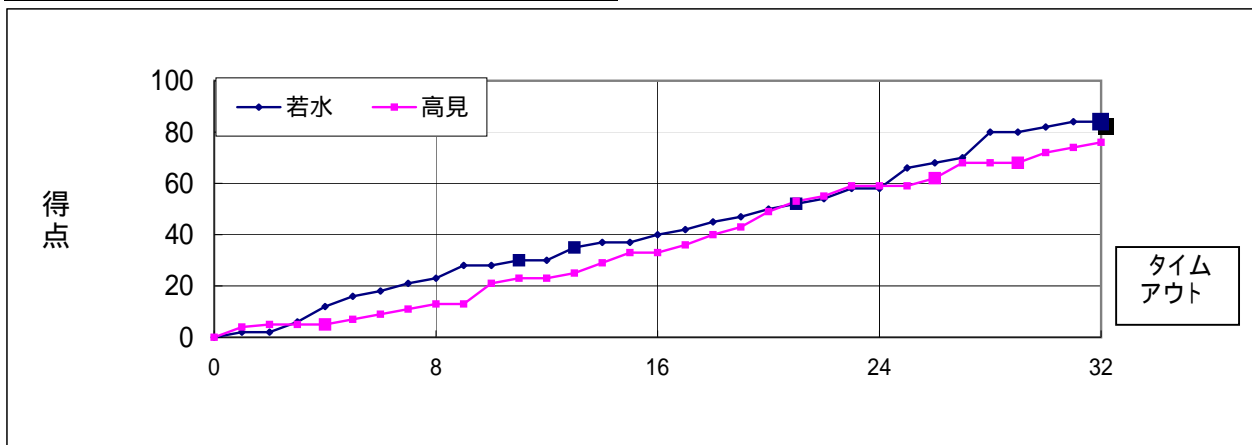


試合区分	3日目	女子決勝	3GM3															
期日	2010年(平成22年)8月25日(水)		13:00															
会場	広島県立総合体育館																	
結果	若水 84 (愛知)	<table border="1"> <tr><td>23</td><td>-</td><td>13</td></tr> <tr><td>17</td><td>-</td><td>20</td></tr> <tr><td>18</td><td>-</td><td>26</td></tr> <tr><td>26</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	23	-	13	17	-	20	18	-	26	26	-	17	-	-	-	76 高見 (福岡)
23	-	13																
17	-	20																
18	-	26																
26	-	17																
-	-	-																
審判	主審 島田 剛次	副審 蒲 健一																



若水

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 渡辺 好美 (C)	10	0	5	0	5
5	* 酒井 彩等	26	3	7	3	1
6	* 鐘ヶ江 さゆり	18	2	6	0	2
7	* 井濶 絢音	10	0	5	0	3
8	宮田 明日香	-	-	-	-	-
9	杉浦 百香	-	-	-	-	-
10	竹 萌実	-	-	-	-	-
11	北原 あゆみ	-	-	-	-	-
12	加藤 宇希波	0	0	0	0	2
13	石井 杏奈	2	0	1	0	2
14	* 高辻 真子	18	1	6	3	3
15	加藤 優希	0	0	0	0	1
16	舟橋 海友	-	-	-	-	-
17	大西ムーア ノエルふゆ	-	-	-	-	-
18	小林 由希	-	-	-	-	-
コーチ	杉浦 裕司					
合計		84	6	30	6	19

高見

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	高橋 幸奈	0	0	0	0	0
5	* 水上 千聖	25	5	5	0	2
6	栗原 沙妃女	0	0	0	0	0
7	二ノ宮 可南	-	-	-	-	-
8	* 荒川 紗笑子	4	0	2	0	2
9	松本 彩花	-	-	-	-	-
10	* 萩尾 千尋	12	0	5	2	5
11	中尾 イダリア	0	0	0	0	0
12	栗原 颯生	-	-	-	-	-
13	藤井 園子	-	-	-	-	-
14	* 森田 菜奈枝 (C)	27	1	8	8	2
15	永野 倫后	-	-	-	-	-
16	* 有田 かなな	8	0	3	2	3
17	森 彩乃	-	-	-	-	-
18	脇 梨奈乃	-	-	-	-	-
コーチ	山崎 修					
合計		76	6	23	12	14

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

予選、決勝トーナメントを危なげなく勝ち上がってきた若水と高見の対戦は、若水2-2-1ゾーンプレスDef、高見オールコートマンツーマンDefでスタート。#14からのパスを受けた#16のシュートで高見が先制する。しかし若水は、バスケットからの速攻で、連続10得点をあげる。高見も鋭い攻めからファウルをもらい、フリースローを着実に決め、23-13で1Q終了。2Qに入って、若水#14の3P、2Pで引き離しにかかるが、2分過ぎ#4が3つ目のファウルで交替。この間に高見連続6得点をあげ7点差に詰め寄る。若水タイムアウトの後、#5が3Pを決めるが、高見の勢いは止まらず、#4のシュートなどで6点差になる。残り1分19秒に若水は#4を投入してOffのリズムを立て直し、#5の3Pによって前半を40-33で終わる。

3Qに入って、若水#14、#5のシュートに対して、高見#14と#5の3Pで対抗し、じりじりと追い上げる。4分10秒に高見#8のタップシュートでついに逆転。5分10秒若水#4が痛恨の5ファウルで退場。しかし、若水はドライブ中心に攻め、高見もアウトサイドシュートで得点を重ね、58-59で3Qを終了する。4Q若水#5、#7のドライブで逆転、このまま一気に連続8得点をあげ、7点差になるが、高見も#5の3Pで対抗。3分過ぎには2点差まで詰め寄るが、若水#5、#14のドライブなどで12点差。高見は、果敢に攻めるも差を8点に縮めるのが精いっぱい。結果は、84-76で若水が優勝。共に、Defを激しくし頑張る中、それを上回るOffでバスケットの楽しさを思う存分観客に魅せる決勝戦にふさわしい一戦であった。

記載者 吉上 隆 (所属) 広島